

上田 よしお 市政報告



発行者:上田よしお後援会・上田よしお市政相談所 住所:茨木市玉瀬町7番9号 TEL/FAX:072-635-4978 E-mail:u_yoshio2005@yahoo.co.jp

新春のお慶びを申し上げます

皆様にはお健やかに新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。平素は私、上田よしお(嘉夫)にご指導ご鞭撻を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年は政権交代の中、なお一層混沌し続けている政治・経済情勢で皆様には大変ご心労をおかけしているものと存じ上げます。一日も早く安定した夢と希望の持てる時代になればなりません。私はこの大変厳しい政治と経済情勢の中、市議会議員として、市民の声を市政に反映し、この茨木が皆様にとって住みやすく誇りと思える街になるよう尚一層の努力をさせていただきます。

なりません。私は議員としての責任と自覚を持ち、市民皆様のご要望にお答えできるよう頑張り明日の茨木が希望に満ち溢れる街になるよう活動をしてまいります。

そして、皆様のお役に立てるよう努力を積み重ねてまいりますので本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。最後にになりましたが、本年も皆様に幸多い年でありますよう、心よりお祈りいたします。

平成23年1月

茨木市議会議員
上田 よしお(嘉夫)



後援会会長 新年のご挨拶

後援会会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は後援会活動にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。上田よしお議員は日頃より議員活動はもとより、地域活動にも積極的に参加して元気で頑張っております。

年4回の市政報告会も皆様のご協力のもと、市政報告を行いいち早く市政の状況を報告し、皆様から頂いたご意見や要望を行政の窓口として市民の立場を理解

するよう活動を行っています。また、皆様との親睦を深めるためにゴルフや日帰り旅行を行い皆様のご参加を頂き、茨木市議会議員上田よしおにご支援ご協力を賜っていることに厚くお礼申し上げます。

本年もいろいろと後援会活動を計画しております。何卒ご参加をいただきまして、ご支援とご鞭撻を賜りますようお願いいたします。年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成23年1月

上田よしお後援会会長
西田 政弘

市政報告会

市政報告会は本会議終了後毎回行っております。その都度多くの皆様にご参加賜り有難うございます。

第19回目は9月25日(土)、第20回目は12月25日(土)に行いました。報告会には前衆議院議員原田憲治様にもご参加いただき国の情勢も合わせて報告を行い、皆様からのご意見や要望を頂いております。また、市政報告を行う毎に意見交換をさせていただいていますが、皆様からの茨木市市政に対する真剣なご意見を頂き、私も皆様のご意見の1つ1つを真摯に受け止め市政に反映させていきたいと思っております。いつでも上田よしおの市政報告会にご参加いただき、ご意見を賜りたいと思います。



第19回市政報告会



第20回市政報告会

次回

第21回は3月本会議終了の3月26日(土)第22回は6月本会議終了の6月25日(土)いずれも14時より水尾コミュニティセンターで予定しております。皆様のご参加をお待ちいたしております。

大企業撤退にこらえて

サッポロビール跡地へ 立命館大学が決定

茨木市内で、大企業が次々と撤退してきましたが、昨年11月16日に茨木市は正式にサッポロビール工場跡地へ立命館大学を誘致・決定し、今後協議、調整に入ることを発表しました。その内容は①平成27年4月に1万人規模の学生が学ぶ大学が開校を予定。②茨木市の支援について(検討中)としながらも、地域の防災性向上に防災公園等の整備(約20,000㎡)と市と大学が協力して作る複合施設の整備(約10,000㎡)に約50億円を想定している。③周辺の道路整備に約10億円を予定する。としていきます。

私はこの事業決定は茨木の今後のまちづくりの核となる重要な事業であると認識し、失敗のない計画とすることに意見を述べて行きます。中でも都市計画としてJR茨木駅南茨木までの導線を整備することが重要と考えます。



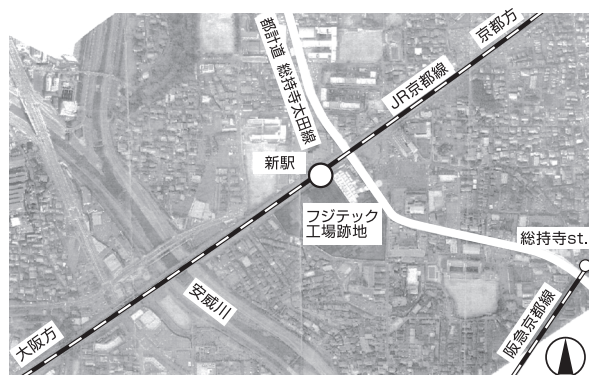
サッポロビール跡地

フジテック工場跡地に

(仮称)JR総持寺新駅を設置するにこらえて

JR西日本、デベロッパ(3社)及び茨木市が、覚書を交換しました。今後は設置位置、駅前広場、アクセス道路等を、協議・検討し平成23年度末の設置に関する意思決定をめざす予定です。

この事業でJR総持寺ガードを大型車が通行できるようにすれば、総持寺周辺はもとより東芝大阪工場跡地開発にも大きく寄与するもので早期の着工を目指して要望してまいります。

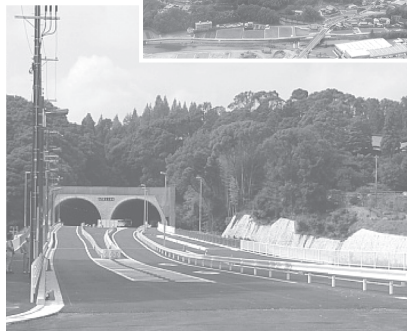


安威川ダム関連道路 府道茨木亀岡線完成

安威川ダム事業の関連で、府道亀岡線（通称ダンプ街道）の付け替え道路として5.4kmの区間が昨年11月25日に開通しました。この道路が開通したことにより、亀岡に抜ける時間が約10分間短縮できると共に2車線道路整備により交通事情が緩和されました。今後は下流域地域（茨木・高槻・摂津・吹田）の治水対策を図るために本体ダムの完成に向け早期完成を願っています。



近所の寺付から
上空から工事



完成の
大門寺トンネル

介護認定者

私の元に介護保険のサービスをどうすれば受けられますかの問合せが多くあります。介護サービスを受けるには、まず要介護認定を受ける必要があります。介護保険のサービスは、「要支援1」「要支援2」と認定された人のための「予防給付」と、「要介護1～5」と認定された人のための「介護給付」の2種類があります。認定からサービスの利用までは市役所の「高齢福祉課」に相談してください。

茨木市では現在約50719人の介護保険者に對し要介護（支援）認定者は8077人で、その内サービスを受けている方は6093人（平成22年3月現在）いらっしやいます。この数は年々増加を辿っています。受け入れ施設も充実し、待機状態は解消に近い状態です。お困りの方はぜひ「高齢福祉課」にご相談ください。

小・中学力調査について

◎体力全国最下位？

昨年12月6日に発表された、全国体力テストで順位を一段と下げた大阪府は、体力向上のため、昨年からなわとびを活用するなどの対策を進めていましたが、成果には結びつきませんでした。橋下徹知事は「非常に厳しい結果。学力向上に向けた同じくらしいのエネルギーを体力向上に注がねば」と険しい表情で、「市町村が責任を感じるべきだ」と語ったということです。（産経ニュース）このことに関し調査したところ、茨木市でも体力テストの結果は厳しい結果となっています。学校での取り組みや家庭での生活習慣により自然と身に付く取り組みが必要ではないでしょうか。

◎学力テストについて

文部科学省が全国30%の学校を対象に実施した学力調査を、茨木市では全小学校6年生・中学校3年生を対象に行いました。その結果、平成22年度は全国平均を殆どの区分で上回りました。しかし中学生の国語について、「将来、社会に出たときに役立つと思いませんか」の問いに5.8ポイントも役立つと答えた生徒が全国平均より少なかったことは残念なことです。また生活習慣で茨木の子供は寝るのが遅く、朝起きるのが全国平均より遅い結果となりました。早寝早起きは三文の得といいますが、ご家庭において是非子供たちの起る時間、寝る時間を今後見直して頂けるようお願いいたします。そして来年度も子どもの学力向上と体力向上に道徳教育を含め取り組みよう要望していきます。

増え続ける生活保護者

生活保護とは、その言葉通りに解釈すると、生活を保護してくれるものです。生活が苦しいので受けたいと申請をすれば、誰でも受けられるものではないでしょうか。もちろん誰でも受けられるわけではありません。大阪の生活保護受給者の多さは日本全国2位だそうです。（ちなみに1位は北海道）大阪は東京に次ぐ第二の都市です。茨木でも例外でなく、22年度の生活保護費は68.2億円で一般会計予算の8.4%となります。貧困社会を打破するには、まずは働く場所の確保が必要で、それがなければ数字は増え続けるばかりです。日本の経済を立て直して、働きたいそして生きがいのある茨木にしていきたいものです。

9月議会の主な焦点

◎市施設の使用料・手数料の見直しについて

使用料・手数料の見直しについて問題ありとして、議会では特別委員会を設置し審議を重ねた結果、本年平成23年4月より使用料および手数料を見直し改正を行うこととなりました。議会では賛否両論の中、改正に賛成しました。その理由として、現在の料金体制では不公平が出ていたこと、挙げ、今回はその不公平を解消するため、誰が使用しても同一料金とし、減免団体として明確に申請許可された団体のみ減免とし、減免団体に認定されなかった団体は一般料金にすることに改めます。従って料金が下がる施設（コミセン等）逆になる施設（公民館等）が出てきますがご理解いただくようお願いいたします。又、今回特に、高校生までの団体での使用料について子ども料金とすることになりました。公共施設の使用料金はすべてを無料にしてはとの意見もありましたが、日常の管理費を受益者負担とすることで、負担の公平性を保つことにより賛成しました。この結果使用料の収入は約2700万円の増となります。

◎21年度決算の結果

平成21年度決算の結果茨木市はすべての分野で黒字決算となり、大阪府下において財政状況は健全財政である。市民1人当たりでみた歳出決算では、一般会計で市民一人当たり29万4000円（19万1700円）のサービスを行ないました。（一）内は、この内市税など市で自由に使えるお金で負担した金額）歳出決算では、福祉の充実にあてた額が大きくなり、これは、子育て応援特別手当を支援したことなどによるとしてしています。

各部で見ると・福祉費に101,500円、道路等建設費48,600円、教育費39,900円、環境衛生費21,200円、消防・救急費7,400円、産業振興費4,900円、住民サービス費41,200円、返済金22,900円の決算となりました。今後益々少子高齢化社会が進む時代に、必要な税金の使い方の配分を私たちは絶えず目を光らせ何時までも健全財政を持続させなければならぬと考えています。

12月議会の主な焦点

◎中学校の統廃合

茨木の山間部にある北辰中学校が生徒数の減少に伴い今年閉校になります。中学校の閉校は茨木市では初めての事です。そこに通学していた学生は北陵中学校と彩都西中学校へ通うことになりました。このことにより市は学生に対し通学用のバスの助成を考えています。他にも中学生に対し今までにない負担が出てくるものと考えられ、出来る限りの対応を市は行っていく必要があります。

◎補正予算

12月の補正予算は総額22.8億円で、その主な財源は国と府からの交付税と支出金である。今年一般会計の総額はこれによって788.06億円が810.86億円となりました。支出で見ると総務管理費の11.56億円と民生費7.15億円、土木費2.41億円である。今まで茨木市は不交付団体でしたが22年度初めて地方交付金17.33億円支給がありました。地方交付税は、本来地方の税収入とすべきであるが、団体間の財源の不均衡を調整し、すべての地方団体が一定の水準を維持しうるよう財源を保障する見地から、国税として国が代わって徴収し、一定の合理的な基準によって再配分する、いわば「国が地方に代わって徴収する地方税」（固有財源）という性格をもっています。

今後の活動予定

市政報告会

第21回
3月26日(土)

第22回
6月25日(土)

第23回
10月1日(土)

第24回
12月24日(土)

いずれも午後2時より行う予定です。
市政相談は随時行っています。
いつでもご相談下さい。

